

資料8 「環境教育の実施者等がESDを学び実践していくための支援体制について」

参考資料集

1 人材育成

- ① 環境教育等支援団体(第10条の2)、人材認定等事業の登録等(第11条～第18条)
- ② 環境教育等に関する教職員・環境保全活動を担う者に向けた研修
- ③ 環境人材育成コンソーシアム事業 環境経営力研修
- ④ 持続可能な地域づくりを担う人材育成事業
- ⑤ 指導者等養成プログラム(インターネットより)

2 教材作成

- ⑥ 事業に活かす環境教育－ひとめでわかる学年別・教科別ガイド－ 環境省
- ⑦ ESDの学習指導過程を構想し展開するために必要な枠組み
国立教育政策研究所 教育課程研究センター
- ⑧ 「環境力」を有するT字型人材育成プログラムガイドライン・英語版
- ⑨ グリーンマネジメントプログラム(GMP)ガイドライン
- ⑩ 教材作成(インターネットより)

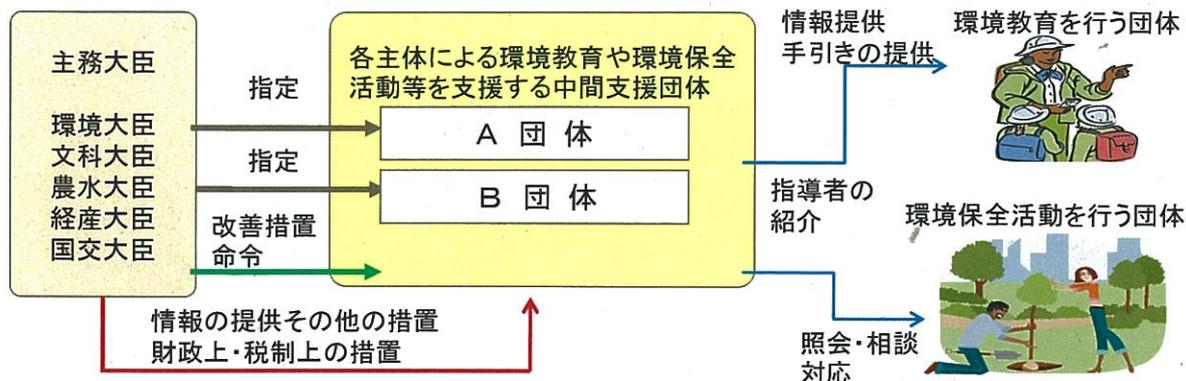
3 連携・相談体制の整備

- ⑪ 地方環境パートナーシップオフィス
- ⑫ 持続可能な開発のための教育プログラム 国際連合大学高等研究所
- ⑬ ESDを推進する民間ネットワーク組織＝ESD-J

※○番号については、資料8「環境教育の実施者等がESDを学び実践していくための支援体制について」の中の参考資料番号

環境教育等支援団体(第10条の2)

国は、各主体による環境教育等の取組を支援する環境教育等支援団体を指定する制度を導入する。



想定される指定法人のイメージ

NPO法人◎◎協議会: 自然体験活動に取り組む機関、団体間の交流支援を行うとともに、調査研究・普及啓発等を実施

NPO法人▲▲環境活動支援協会: 環境教育・学習の相談・アドバイス、環境学習システムの開発、講師の派遣等

【参考】環境教育等支援団体 (平成26年5月21日時点で2団体を指定)

1. 特定非営利活動法人 地球環境保全協会

■指定時期: 平成26年3月

■主務省: 環境省、文部科学省

■支援事業の名称: 太陽光発電導入向け環境エネルギー教材及び環境教育普及啓発事業

■支援事業の内容: ○太陽光発電に係る国の補助事業に関する情報等を収集・整理し環境保全に資する目的の事業を小冊配布やHP掲載等を行う。

○「気候変動に関する政府間パネル」の発行する評価報告書について評価研究を行い、その成果を環境エネルギー教育の教材ソフトとして作成し、地方自治体が学校施設等に国の補助事業を利用して太陽光発電を導入する際に使用できる教材として提供する。

○地方自治体等から地球温暖化問題等に関わる環境教育学習・講演会の講師を依頼された際に、研究成果を活用する。

■対象者の範囲: 主に地方自治体、学校関係者、小中学生、地域住民等やインターネットを通じて広く一般国民を対象とする。

2. 資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」

■指定時期: 平成26年3月

■主務省: 環境省、文部科学省

■支援事業の名称: 資源と環境の教育の、普及促進事業

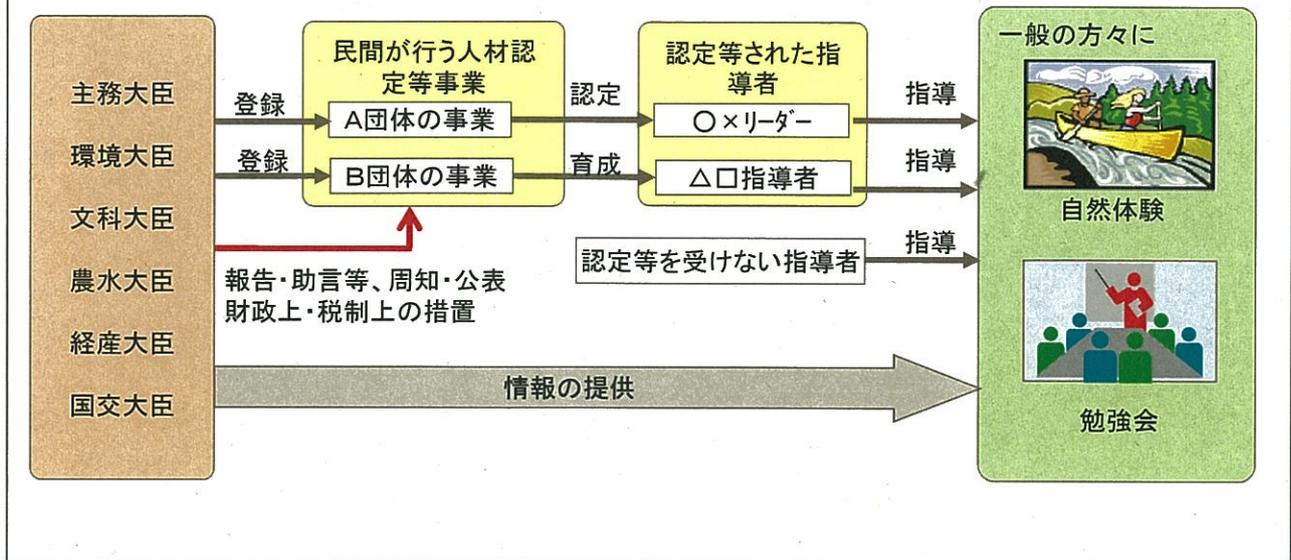
■支援事業の内容: 生活や文化・社会環境と製品の一生(ライフサイクル)において、エネルギーや各種資源・食料・水・環境負荷などに関わる情報・教材・指導者などを、開発・調査研究し、また広くあつせんする事業

■対象者の範囲: 一般の子どもおよび消費者、またその環境教育にかかわるステイクホルダー

人材認定等事業の登録等(第11条～第18条)

※改正法において、登録対象として「協働取組のファシリテーターの認定等」や「環境教育の教材開発事業等」を追加

民間団体・事業者などが行う環境保全に関する指導者を育成・認定する事業等を、国が登録する制度。



【参考】主な人材認定等事業 (平成26年5月21日時点で46事業が登録)

凡例: ○・・育成事業 ■・・認定事業

環境教育

- 「自然体験活動リーダー養成講座」(あそそ自然学校)
- 「PLT:Project Learning Tree ～木と学ぼう～」ファシリテーター養成講座」(NPO法人 国際理解教育センター)
- 「ビオトープ管理士資格試験」(公益財団法人 日本生態系協会)
- 「こども環境管理士資格試験」(公益財団法人 日本生態系協会)
- 「環境教育インストラクター認定」(NPO法人 環境カウンセラー全国連合会)

他・・○(育成事業)12事業 ■(認定事業)10事業

森林の保全・緑化

- 「植生アドバイザー」育成事業」(一般社団法人 日本植木協会)
- 「森林インストラクター養成講習」(一般社団法人 全国森林レクリエーション協会)
- 「林業技士(森林環境部門)養成事業」(一般社団法人 日本森林技術協会)

他・・■(認定事業)1事業

五感を通じての水辺体験学習

- 「川に学ぶ体験活動指導者の育成に関する事業」(NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会)

まちづくり

- 「自然体験活動リーダー育成講座」(NPO法人 自然体験学校)

水・土壌の保全

- 「土壌環境リスク管理者」資格認定」(一般社団法人 土壌環境センター)
- 「河川環境保護指導員認定制度」(NPO法人 河川環境基金)
- 「環境サイトアセッサー(土壌汚染)認定登録」(一般社団法人 産業環境管理協会)

リサイクル・廃棄物

- 泥土を適正に処理するための指導者育成」(一般社団法人 泥土リサイクル協会)
- 「遮水工管理技術者認定事業」(日本遮水工協会)
- 「遮水工施工技能者認定事業」(日本遮水工協会)

環境エネルギー教育

- 「環境教育人材育成事業」(有限会社 PTP) 他・・○(育成事業)1事業

地球温暖化防止

- 「教職員対象環境教育指導者育成事業」(NPO法人 エコけん)

環境技術の背景を学ぶ・地球賢人

- 「環境技術指導者養成講座」(NPO法人 環境技術支援センター)

環境教育等に関する教職員・環境保全活動を担う者に向けた研修

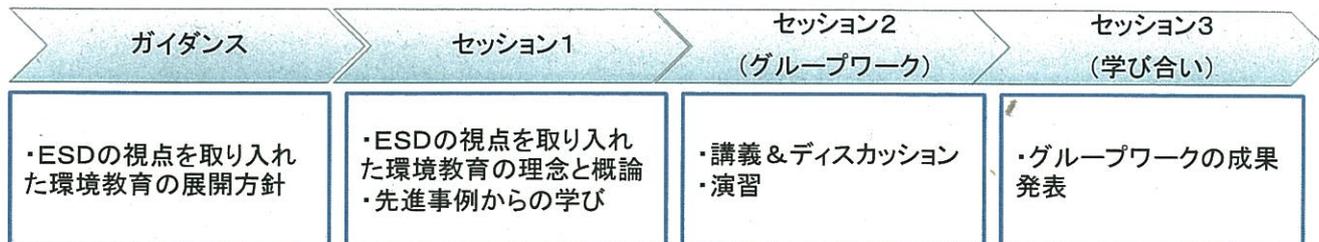
②

研修の対象者

- ◆ 小・中学校の教職員
- ◆ 地域における環境教育や環境保全活動等の実践者

カリキュラム構成

※小学校低学年向け・中学生向けの2つのカリキュラムを実施
※関東(東京)及び関西(兵庫)のブロック毎に各年1回開催



研修の達成目標

- ◆ ESDの理念や考え方を理解し、その視点を取り入れたカリキュラムのデザイン力及び実践力を養う
- ◆ 地域で環境保全活動を担う者と教職員のネットワーク形成を支援
上記2つの目標の達成により…
- ◆ 学校教育の場や地域における持続可能な社会の担い手を育成する



管理職向け 環境経営力研修

価値創造の環境経営実践講座

「環境」の時代に発展する企業の経営力とは？

2013年11月8日(金) 13日(水)
全2日間 連続講座

会場：新丸の内ビルディング エコツツェリア会議室

経営戦略、研究開発、商品企画、調達、総務人事、環境・CSR等において、「環境」で新たな企業価値創造を目指す管理職の方はぜひご参加ください！

● 本講座の五つの特長

1. 大学院環境経営プログラムをベースに構築
2. 各分野の第一人者による最先端の講義内容
3. 環境経営の基礎から実践までを修得できる体系的な研修構成
4. グループワークを重視し、自ら考え「解」を生み出す能力を養成
5. 研修や交流会を通じた異業種間の“つながり”を構築

1日目：11月8日(金) 13:00～19:30

★研修会後 交流会あり

第1部：環境基礎力講座 13:00～16:10

企業活動と環境問題

講師 森下 研

持続性推進機構専務理事

エコアクション21中央事務局長

環境問題とは、どのような問題で、何故、どのような原因構造で起きているのかを、マクロ的、鳥瞰的に理解し、その対策が、今後5～10年の間で企業に与える影響を考えます。

第2部：環境実践力講座① 16:20～19:30

環境政策の動向・将来展望と企業活動

講師 石野 耕也

中央大学法科大学院教授

元環境省審議官

環境問題を大枠で理解した上で、その解決に向けた対策の歴史、内容を踏まえ、今後5～10年の間で、政府等が行う施策を予測し、企業が行う対策・取組等のあり方を考えます。

2日目：11月13日(水) 13:00～19:30

★研修会後 交流会あり

第1部：環境実践力講座② 13:00～16:10

バリューチェーンマネジメントと環境・CSRの取組

講師 後藤 敏彦

環境監査研究会代表幹事

グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク理事

環境問題を持続可能性、CSR問題の一環として捉えるとともに、企業単体ではなくバリューチェーンマネジメントの中で、今後5～10年の間でどのように対応すべきかを考えます。

第2部：戦略的環境思考力講座 16:20～19:30

環境ソリューションの創出

講師 石田 秀輝

東北大学大学院 環境科学研究科教授

前3回の講座を踏まえ、環境制約の中で「社会に“豊かさ”を提供する」という企業の使命の基、バックキャスト手法を用いて、企業が2030年においてどのようなソリューションを創出すべきかを考えます。

● 講師及び講義内容は予定です。変更になる場合がございます。ご了承ください。

Photo by Marcus Z...

経営者層向け 環境経営力研修

価値創造の環境経営実践講座

“環境”の時代に成長する企業経営の新潮流

2014年1月17日(金)～18日(土)

合宿講座(1泊2日)

会場：大磯プリンスホテル

1日目 1月17日(金)

地球環境の俯瞰と将来予測

講師 **安井 至** 氏 10:15～11:45 及び 16:10～18:10

独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長、東京大学名誉教授、国連大学名誉副学長

環境問題について地球的観点から概観し、環境リスクや想定されるシナリオに対して企業経営者が持つべき視点を考えます。

資源問題の現状把握と 将来リスクへの対応

講師 **原田 幸明** 氏 12:40～14:00

独立行政法人物質・材料研究機構特命研究員
(前 元素戦略材料センター 元素戦略統グループ長)
日本LCA学会会長

資源問題の現状やその未来を概観し、ものづくり日本における資源リスクへの対応の重要性を学びます。

ライフサイクル思考と 環境影響評価による戦略企画

講師 **平尾 雅彦** 氏 14:10～15:30

東京大学大学院工学系研究科教授
グリーン購入ネットワーク会長

製品の「ゆりかごから墓場まで」を考えるライフサイクル思考を土台に環境への影響を把握することが、ビジネスを展開する上での基本であることを学びます。

2日目 1月18日(土)

バリューチェーンマネジメントと ステークホルダーとのコミュニケーション

講師 **後藤 敏彦** 氏 9:00～12:00

環境監査研究会代表幹事
グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク理事

様々なリスクへの対応には、1社だけでなくバリューチェーン全体での対応が必要であり、ステークホルダーとの対話の中で“解”を見出すことが必要であることを学びます。

バックキャスト思考による ソリューション創出

講師 **石田 秀輝** 氏 13:00～16:00

東北大学大学院環境科学研究科教授

企業が環境問題に対応し、「豊かさ」を提供するためには現状の把握と、現状からの将来予測だけでなく、将来からの視点で今何をすべきかを考える必要があることを学びます。

● 講師及び講義内容は予定です。変更になる場合がございます。ご了承ください。

Photo by Marcus Zor

持続可能な地域づくりを担う人材育成事業

④

平成26年度予算額 183百万円 (平成25年度予算額 183百万円)

背景

- 平成23年6月に全会一致で改正された「環境教育等促進法」が、平成25年4月から本格実施されたことを受け、学校、地域等における環境教育の充実が必要とされている。
- リオ+20の成果文書において、「持続可能な開発のための教育(ESD)を促進する」ことが明記され、日本政府「緑の未来」イニシアティブにおいても、「持続可能な社会を担う人材づくりや環境教育プログラムの作成等を一層推進する」となされている。
- 「国連ESDの10年」の最終年である平成26年に、ユネスコとの共催により「ESDに関するユネスコ世界会議」が日本で開催予定であり、主催国としてリーダーシップを発揮することが必要となっている。

平成26年に向けて、持続可能な地域づくりを担う人材を育成するESDに従った環境教育を充実することが必要不可欠

事業の概要

文部科学省と連携・協力しつつ、以下の取組を推進

- ①ESDに従った小中学生向け環境教育プログラムの作成
- ②教職員、NPO、事業者、行政等によるワークショップの開催を通じたプログラムの検証や理解の深化
- ③出前授業等を活用した教育現場等での実証を実施

期待される成果

- ・持続可能な人材づくりの先進地域の形成
- ・先進地域から周辺地域への波及・広域化
- ・ESDの実績拡大による、主催国としての態勢の充実

持続可能な地域づくりを担う人材育成事業(平成25年度から、平成27年度までの3ヵ年計画)

ESDの視点を取り入れた環境教育プログラムのモデル

- ①全国から20のプログラムを選定し、モデル化

例えば…

「ごみ減らし大作戦」

～ごみを減らすルールを作ろう!～

- 1時間目:ごみが増えるとなぜいけないのかな。
- 2時間目:捨てたごみはどこへ行くのかな。(ごみ処理場見学)
- 3時間目:ごみの気持ちになってみよう。
…リサイクルを実施している店の人にインタビューしたり、リサイクル工場を見学するなど…
- 11、12時間目:ゴミを減らすルールを作ろう!
家に貼って使えるようなルールシートを作る(家で取り組んだ成果を共有)。

など、様々な分野のプログラム



- ②全国の都道府県において、教職員、NPO、事業者、行政等によるワークショップの開催を通じたESDやESDのプログラムの理解の深化



- ③全国の都道府県において、20のプログラムの中からプログラムを選び、これに地元ならではの要素を加え、ESDの視点を取り入れた環境教育プログラムを作成し、主に学校現場で実証

平成26年11月の「ESDに関する世界会議」において、

- ・全国各地で形成された、地域のNPO、教育関係者、事業者等の様々な主体が参画したESD先進地域の取組を発信
- ・全国各地で作成された、ESDの環境教育プログラムやその活用事例を集約し、発信

→世界会議後のESDの更なる波及、拡大



公益財団法人 **キープ協会**
Kyosato Educational Experiment Project

サイト内検索

検索



ホーム
home

体験プログラム
programs

見どころ・イベント
highlights & events

宿泊・研修
stay & conference

レストラン・ショップ
restaurants & shops

キープについて
about KEEP



ホーム >> 体験プログラム >> 指導者養成プログラム

環境教育の取り組みに挑戦



キープ協会では約30年にわたって、環境教育に関する取り組みを行ってきました。体験型の環境教育プログラムを軸に、テーマや対象者を変えて、様々な方面への環境教育の取り組みに挑戦し続けています。これまでの活動を通して培ってきた、環境教育の手法や考え方などをみなさまと共有する場として、指導者養成プログラムを行っております。プログラムには定期的に開催しているものと、随時お申し込みを受けて開催するものがあります。

指導者養成プログラム



清里インタープリ
ターズキャンプ



環境教育プログラム
体験セミナー



指導者養成出前講座

- 体験プログラム
スケジュール
- イベント
カレンダー
- 清泉寮
SESEN-RYO
- 清泉寮ネットショップ
- キープ協会公式
Facebookページ
- キープ協会
公式アカウント
- twitter キープ協会
環境教育事業部
- スタッフブログ
清泉寮だより
- インタープリターズBLOG
- キープ自然学校
やまもりキャンプ
ブログ
- ポール・ラッシュ
記念館
- facebook
- 山梨県立
ハケ岳自然ふれあいセンター
- Friends of KEEP
FOK 入会のご案内



ホーム > 自然学校指導者養成講座

[トップページ](#)

[概要・お問い合わせ](#)

[実施スケジュール](#)

[施設・OJT校について](#)

[修了生の進路](#)

[修了生からのメッセージ](#)

ボランティア募集

私達の活動をお手伝いし
てくださるボランティア
を随時募集しております。



自然学校指導者養成講座

自然学校指導者養成講座ウェブサイトへようこそ！

**自然学校の
プロになる。**

全国の自然学校で活躍するプロになりませんか？
この講座は自然を舞台に活躍する自然学校の指導者を育成するプログラムです。
受講後は自然学校やアウトドア業界への就職という道も拓かれています。
プロ養成講座を受講して、新しい人生に挑戦しませんか？

■ニュース

- 2014/1/28 [第15期受講生説明会を実施しました。](#)
- 2014/1/20 [OJT受け入れ校の情報を更新しました。](#)
- 2014/1/7 [第15期 自然学校指導者養成講座の受講生募集を開始しました。](#)
- 2013/12/22 [今年度受講生\(第14期生\)の生のコメントをネット配信します！](#)

2013年12月22日(日)で9ヶ月間に渡って行われた講座が修了します。

修了したばかりの14期生に特別インタビューを行います。

資料だけでは分からない、講座の中身が見えてくるはず。

受講生からの熱いメッセージをぜひご覧ください。

日時: 12月22日(日)11時~11時30分(予定)

URL: <http://www.ustream.tv/channel/jeef-pro>



募集チラシDL



MOMOFUKU
ANDO
CENTER

安藤百福記念
自然体験活動指導者養成センター

安藤百福センターは、自然体験活動の指導者養成と指導カリキュラムの研究・開発を目的とした日本初の専門施設です。



➤ 自然体験活動とは？

➤ 安藤百福センターの
役割とビジョン

➤ 研修・講演
体験イベント

➤ 安藤百福センターの
ご案内

- ① アクセスマップ
- ② よくあるご質問
- ③ 利用お申し込み
- ④ お問い合わせ

**小諸
Tree
House
Project**
小諸ツリーハウスプロジェクト
小諸の自然とアートが
融合する空間

安藤百福センター・トレイル
安藤百福センターを中心とした
トレイル5コースのご紹介



開催日：2014.01.25～03.07 募集締切

人と自然と社会をつなぎ、子どもたちに笑顔と感動をあたえる仕事をしよう！

第15期 自然学校指導者養成講座

主催：安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター
共催：公益社団法人日本環境教育フォーラム

【対象者】 自然体験活動の指導者をを目指す人



**第15期 自然学校指導者養成講座の受講生を募集しています
これからの「生き方」を自然学校という舞台上で広げてみませんか？**

◆最新情報◆

- 説明会等の映像を配信中です！ぜひご覧ください！
- ⇒【その1】前年度修了生への特別インタビュー
- ⇒【その2】1/25に実施した講座説明会

■講座について

自然学校（エコツーリズム、グリーンツーリズム、アウトドア事業、山のガイド、自然体験活動事業、自然を舞台とした環境教育、森のようちえん、山村留学、ESD、地域おこし、ソーシャルビジネス等）の現場で即戦力となる知識と技術を身につけた指導者を養成する講座です。

修了後は多くの方が自然学校やアウトドア業界へと進んでいます。

⇒（参考：修了生の進路）

～ここがオススメ～

- ・職業（仕事）として自然学校での指導者をを目指す日本で唯一の講座
- ・一流の講師陣から幅広い専門分野を学べる
- ・就職につながるネットワーク構築の機会が盛りだくさん
- ・故郷や地域を元気にするノウハウが身に付く
- ・人と自然と社会のつながりを大切にするライフスタイルを実現する第一歩！

■資料および入学願書は下記よりダウンロードできます

- パンフレット ⇒ (PDF)
- 講座の概要 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 出願要項 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 入学願書 ⇒ (Excel) ⇒ (PDF)

■OJT受入校の資料（都道府県順）

- 北海道 NPO法人ねおす ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 宮城県 くりこま高原自然学校 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 千葉県 NPO法人千葉自然学校 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 東京都・山梨県 NPO法人国際自然大学 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 石川県・富山県 NPO法人ガイア自然学校 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 山梨県 公益財団法人キープ協会 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 岐阜県 トヨタ白川郷自然学校 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 静岡県 ホールアース自然学校 ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 徳島県 NPO法人自然スクールTOEC ⇒ (Word) ⇒ (PDF)
- 熊本県 一般社団法人アイ・オー・イー ⇒ (Word) ⇒ (PDF)

■過去の講座の情報を掲載しています

(公益社団法人日本環境教育フォーラムホームページ)
⇒こちらからご覧ください

■お問い合わせ

安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター内
自然学校指導者養成講座係 担当：小島 真一
TEL 0267-24-0825 ⇒メールはこちら

